

病名別(前四半期比較)

総収入合計

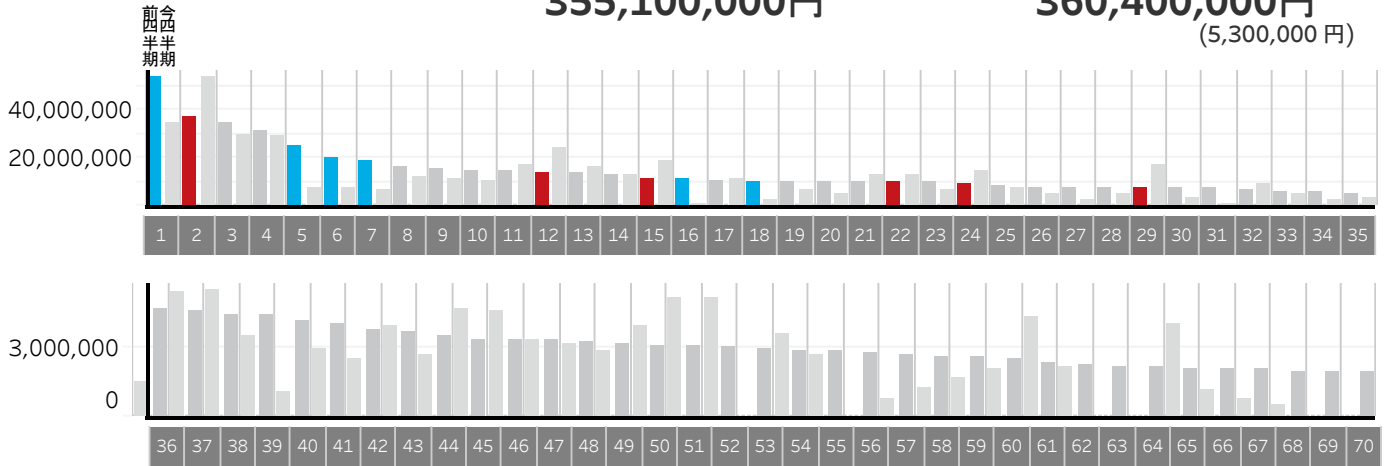
昨年 2019年1月～2019年3月

355,100,000円

今年 2019年4月～2019年6月

360,400,000円

(5,300,000円)



コード	MDC6	入院診療単価	入退院件数	平均在院日数	入院期間率 (I+II)
	合計	今四半期 53,000 前四半期 53,000	今四半期 680 前四半期 670	今四半期 10.0 前四半期 10.0	60%
040080	1 肺炎等	今四半期 47,000 前四半期 48,000	今四半期 100 前四半期 60	今四半期 11.0 前四半期 12.0	70%
050050	2 狭心症、慢性虚血性心疾患	今四半期 102,000 前四半期 125,000	今四半期 60 前四半期 80	今四半期 6.0 前四半期 6.0	70%
050130	3 心不全	今四半期 48,000 前四半期 45,000	今四半期 30 前四半期 30	今四半期 20.0 前四半期 21.0	40%
040081	4 誤嚥性肺炎	今四半期 50,000 前四半期 52,000	今四半期 30 前四半期 30	今四半期 18.0 前四半期 20.0	70%
110280	5 慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	今四半期 44,000 前四半期 43,000	今四半期 40 前四半期 20	今四半期 15.0 前四半期 12.0	40%
060020	6 胃の悪性腫瘍	今四半期 65,000 前四半期 44,000	今四半期 10 前四半期 10	今四半期 20.0 前四半期 12.0	30%
050210	7 徐脈性不整脈	今四半期 106,000 前四半期 92,000	今四半期 10 前四半期 10	今四半期 13.0 前四半期 12.0	40%
110310	8 腎臓または尿路の感染症	今四半期 39,000 前四半期 39,000	今四半期 30 前四半期 30	今四半期 12.0 前四半期 12.0	50%
050070	9 頻脈性不整脈	今四半期 68,000 前四半期 52,000	今四半期 10 前四半期 10	今四半期 21.0 前四半期 30.0	70%
180010	10 敗血症	今四半期 122,000 前四半期 100,000	今四半期 10 前四半期 20	今四半期 9.0 前四半期 6.0	50%

「MDV」四半期サマリーの目的

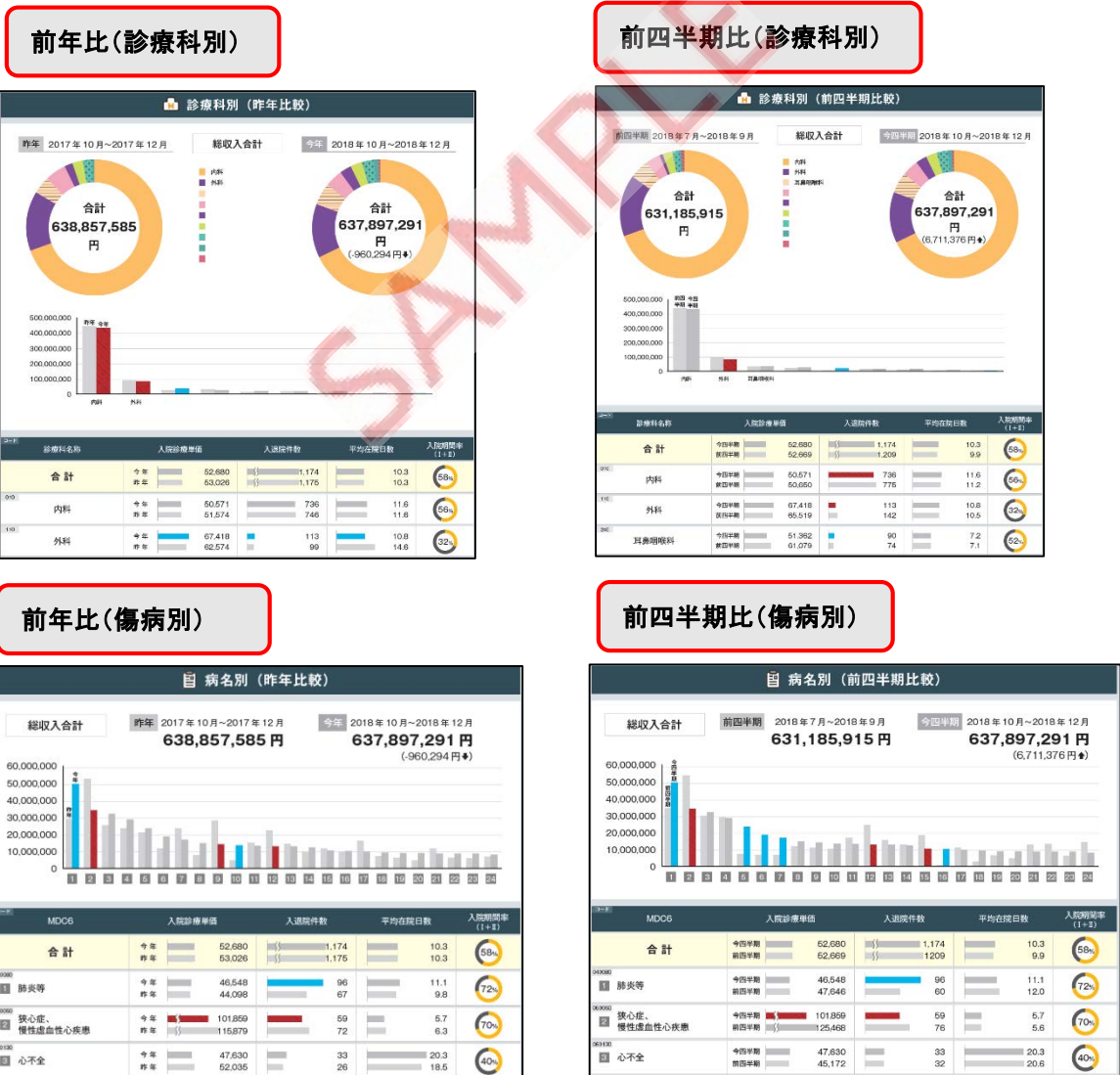
「MDV」四半期サマリー（以下、サマリー）をお申込みいただきまして、誠にありがとうございます。
 サマリーは、収入改善を図るための候補（診療科または傷病）を把握いただけるように、**前年比 / 前四半期比**の2種類をご用意いたしました。
 サマリーは、貴院の現状把握としてご確認いただき、マイナス傾向が確認できた診療科、傷病については、その理由を探っていただくために、「EVE」を活用ください。

「EVE」の操作につきまして、本手順書で紹介いたしますので、「MDV 四半期サマリー」、「EVE」をお手元にご用意のうえ操作をお試ください。

サマリーの構成

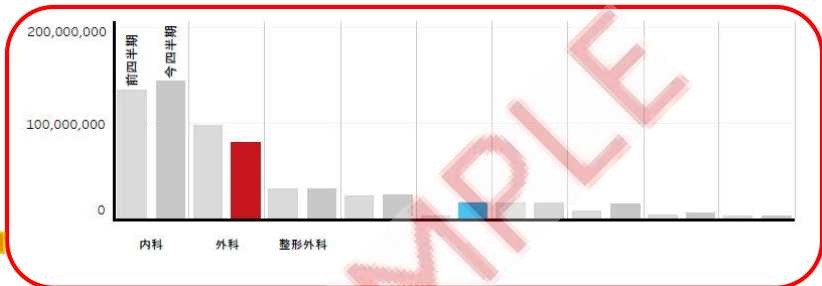
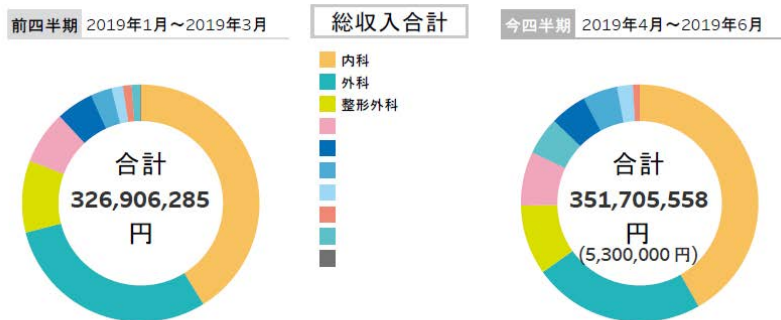
2種類のサマリー**前年比 / 前四半期比** がございます。
 集計単位は、**診療科別 / 傷病別(MDC6)**の2パターンございますので、**計4種**の結果をご確認いただけます。
 ※「EVE」ベンチマーク用データとしてご提出されたDPCデータのうち、様式1、Dnファイルを集計

◆イメージ



サマリーの見方

例) 前四半期比(診療科別)



入院収入の多い診療科順に表示

診療科名称	入院診療単価	入退院件数	平均在院日数	入院期間率 (I+II)
合計	今四半期 53,000 前四半期 53,000	今四半期 680 前四半期 670	今四半期 10.0 前四半期 10.0	60%
010 内科	今四半期 51,000 前四半期 51,000	今四半期 240 前四半期 240	今四半期 12.0 前四半期 11.0	60%
110 外科	今四半期 67,000 前四半期 66,000	今四半期 110 前四半期 140	今四半期 11.0 前四半期 11.0	30%
120 整形外科	今四半期 51,000 前四半期 61,000	今四半期 90 前四半期 70	今四半期 7.0 前四半期 7.0	50%

診療科別に、入院診療単価、入退院件数、平均在院日数を表示していますが、診療科全体(上記棒グラフ)の結果と因果関係を示すものではありません。
あくまで、要因分析の糸口としてお示しします。

入院期間Ⅱ(全国平均在院日数)までに退院した患者割合

前年(前四半期)との差分が、顕著な場合に色付け表示
増:青 / 減:赤 (在院日数は、増:赤 / 減:青)
※診療科毎に疾患が異なり収入要因も異なりますので、標準偏差を用いて判断します。2SD以上に該当した場合に色付けしています。

「EVE」を活用した分析について

減収要因を探っていただくために、DPC 制度の売上の要素となる、下記 3 点を分析の糸口としております。

- ① 在院日数の短縮
- ② 診療単価の向上
- ③ 件数の推移

<注意>

収入改善を図るきっかけとして、「EVE」で最もご利用いただいている分析の観点です。

なお、DPC データ(様式 1、En、Fn、Dn)に記載された実績を元に分析する方法のため、**DPC データから読み取れない事情は、病院様ご自身で考慮いただく必要がございます。**

例) 季節変動の影響による収入の変化

患者様の容態による診療単価の変動(臨床上の判断経緯は DPC データからは読み取れません)
病院方針(稼働率を踏まえ、意図した在院日数の管理がある時など)

<制約>

サマリーと「EVE」では扱う症例に制約がございますので、相互の数値は完全には一致いたしません。
また、サマリー、「EVE」ともに DPC(入院症例)のみの分析に限ります。

【EVE の計算対象外症例】

- ・治験対象患者
- ・24 時間以内の死亡患者
- ・全入院期間で DPC 対象外病棟に入院
- ・全入院期間 DPC 対象外(自費・労災等)
- ・先進医療療法対象外患者
- ・短期滞在手術等基本料 3(生活療養を受ける場合)
- ・外来症例

次ページより、サマリーと「EVE」を使った分析手順をご紹介します。

Step1 【現状把握】サマリーの収入比較グラフを確認する

サマリーの診療科別、収入比較の入院診療単価 / 入退院件数 / 平均在院日数 に注目する。

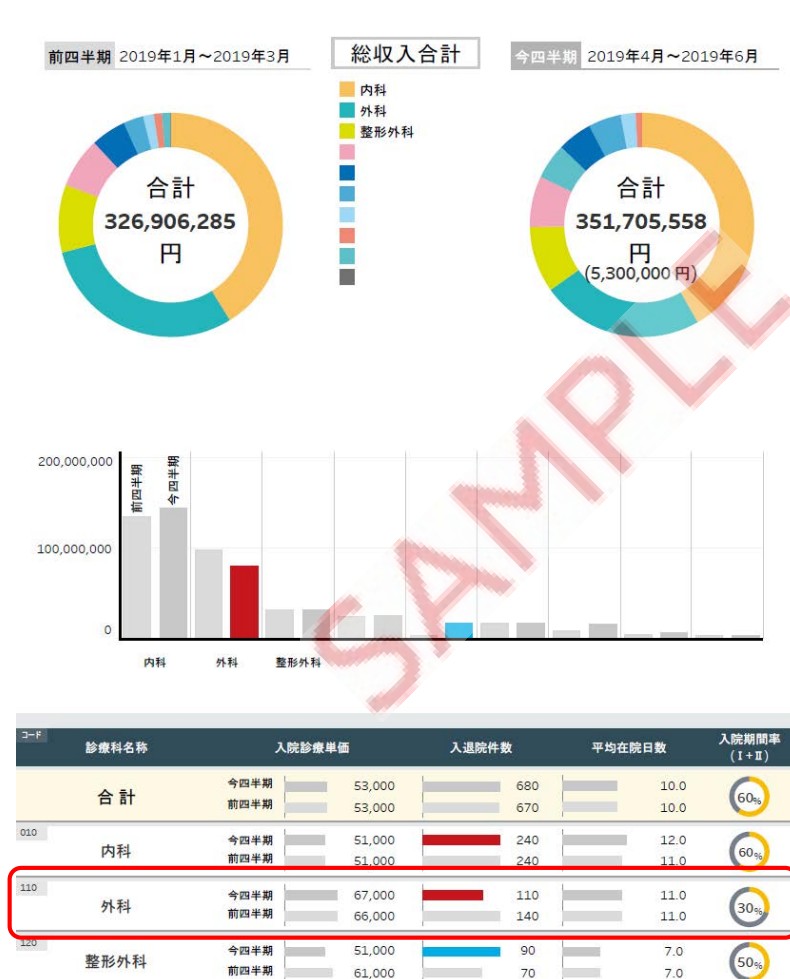
一つでも、赤色のあった診療科から分析を始めます。

※複数項目で赤色がついていた場合

日数 / 単価 / 件数が互いに影響を及ぼしている可能性もありますが、それぞれ独立して分析します。

平均在院日数 → 入院診療単価 → 入退院件数 の順に取り組んでいただくことを推奨しております。

なお、本手順では、診療科別に焦点をあててご紹介いたします。傷病別からご利用の場合は、各手順の診療科を傷病名(MDC6)の指定と読み替えてご利用ください。



注目！

Step2 【分析の糸口】傾向別の分析に取り掛かる

平均在院日数が赤色の診療科 ⇒ 8 ページへ (在院日数分析)

入院診療単価が赤色の診療科 ⇒ 12 ページへ (診療単価分析)

入退院件数が赤色の診療科 ⇒ 16 ページへ (入院件数把握)